

- ・対象地域：福島町
- ・地域人口：4,676人(2,280世帯)(H26年町要覧)
- ・漁港：福島漁港(3)、吉岡漁港(2)、岩部漁港(1)
- ・漁業就労者：190人(H25町調べ)

福島地域マリンビジョン

うみ 海峡の横綱をめざして ~ステップアップ福島~

《平成27年3月策定》

■ 拠点漁港のタイプ

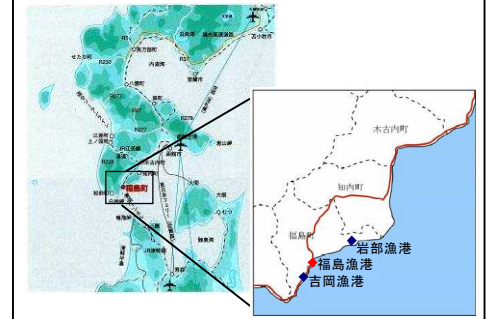
- 衛生管理流通拠点型
- 増養殖支援拠点型
- 都市漁村交流拠点型

拠点漁港

地域の資源等



【位置図】



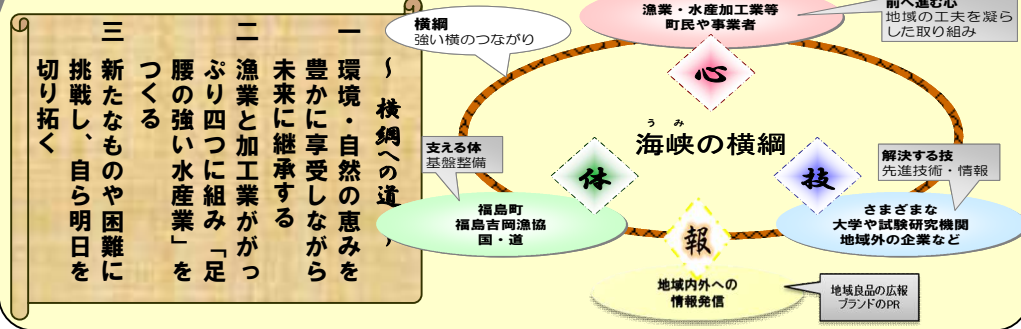
現状と課題

地域の目指す姿

- 現状**
- 主要魚種イカ・マグロ・ウニの減少(1千ト以下)
 - 漁業燃料及び資材の高騰
 - 水産業(漁業と水産加工業)に依存した地域の産業構造
 - 漁業就業者の減少と高齢化
 - シルバー漁業であるウニ単価の下落
- 課題**
- 漁業と水産加工業の連携
 - 高齢漁業者が続けられる漁業
 - 福島(海峡ブランド)の確立
 - 水産物の付加価値向上
 - 地元水産品の積極的PR
 - 地域外の資源・技術・情報の効果的な導入

■ ビジョンの特徴

海峡(うみ)の恩恵にあずかり、先人から培われてきたコンブ養殖やウニ・ナマコ養殖のつくり育てる漁業とスルメづくり等の水産加工業を中心に、強くなり続ける地域を実現する。このため、先進技術や情報を有する大学等との連携を糧にあくなき挑戦とおしめない努力を続け、地域の良いものを広くPRし、北海道の漁村の先駆けとなるような地域をめざす。



地域マリンビジョン協議会

- 《本協議会メンバー》 19名
- ・ 漁協(幹部、女性部)
 - ・ 水産加工業者(振興協議会幹部)
 - ・ 商工会(千軒地区活性化委員)
 - ・ 関係行政機関
 - ・ 大学(アドバイザー)
- 《地域部会メンバー》 15名
- ・ 漁協(部課長クラス)
 - ・ 水産加工業者
 - ・ 商工会(幹部、青年部、各部会)
 - ・ 観光協会
 - ・ 福島町

地域資源(特徴)

- 安定生産・規模拡大が見込めるコンブ養殖漁場
 - 魚種が多様で豊かな前浜(津軽海峡)
 - 世界一を誇るスルメ加工
 - 古くはコンブ養殖技術、近年はイトウ養殖技術といった大学等との結びつき
 - 山間部住民(千軒地区)の力強い地域活性化への取り組み
- 【その他の主な地域資源】
- ・ 横綱記念館 ・ トンネル記念館
 - ・ -5.0m岸壁 ・ 月崎人工海浜
 - ・ 海峡横綱ビーチ ・ 殿様街道
 - ・ 「ウニの塩水パック」
 - ・ 「いかス海峡するめ」 ・ 「海峡マグロ」
 - ・ ゆるキャラ「するめ〜」
 - ・ 未利用コンブ・直販イベント

漁港の将来像

- ① 衛生管理流通拠点機能
 - ・ 水産物陸揚げ拠点としての屋根付き岸壁
 - ・ ウニ安定出荷を支える漁港水域の多面的活用
- ② 増養殖支援拠点機能
 - ・ コンブ養殖の基地としての屋根付き船揚場
 - ・ ガゴメ養殖・ウニ・ナマコ稚仔放流などによる静穏域の新たな活用
- ③ 都市漁村交流拠点機能

漁業・水産加工業・商工観光業の協働による新たな観光資源の場 研究者等との連携・交流による早期解決、漁業・労働・生の改善

ビジョン実現のための主な取組み

- 水産加工業者がコンブの製品化を担い「地域内分業体制を構築」
- 未利用コンブ(ガニアシ)の販売促進
- 浦和漁港を巨大ウニ蓄養場化して「塩水パックを安定供給」
- 山間部住民が運営する「千軒そば屋」で海産物をメニュー化、販売促進
- 地域ぐるみでバックアップする販売場所の確保、PR戦略
- 農・水の地場産品を集めて顔の見える商品の開発
- 大学等の地域へ巻き込み
 - ・ 「浜を豊かにする研究発表会」の開催・発展・研究成果の活用
 - ・ 「連携窓口」設置と「福島 Town Sales」の実施